

photopos 9

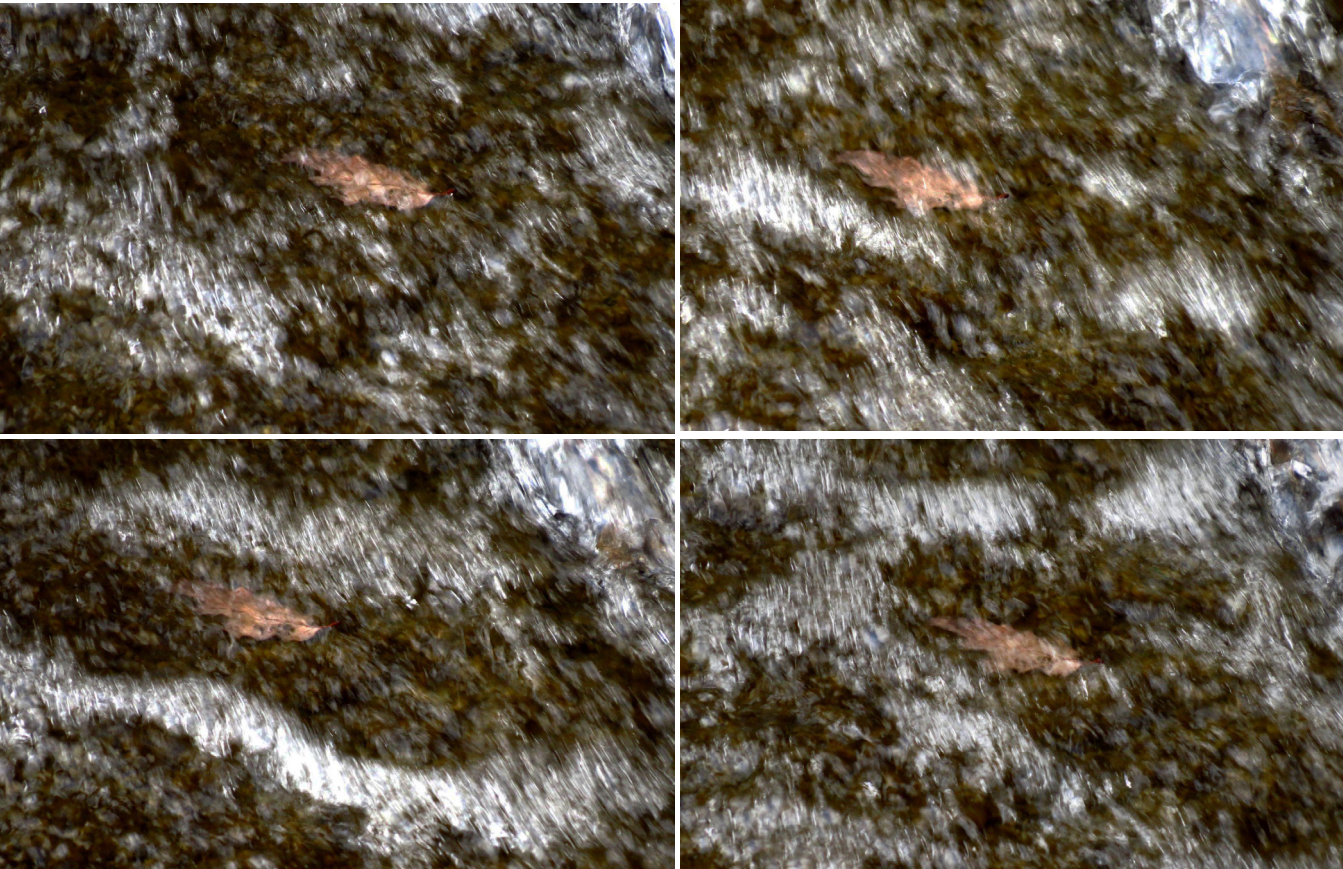
2015..3.25 ~ 2015..4.18

【神秘学ポエジー～風遊戯 第18集】

photo ヴァージョン

神秘学遊戯団

photopos-201
2015.3.25



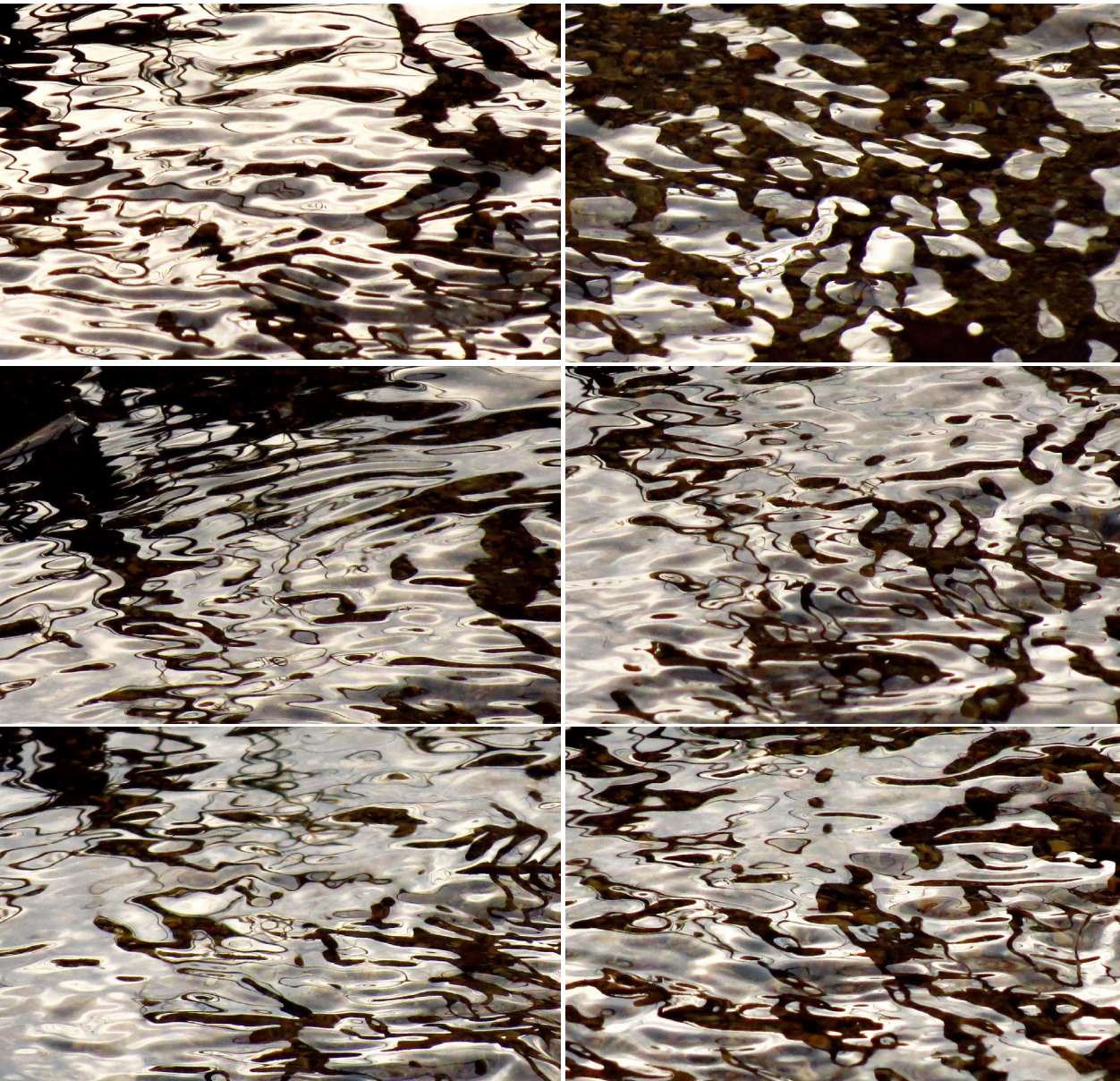
さまざまな姿をとりながら
現れては消えてゆく
泡の姿を見ている私は
いったい何を見ているのか

喜び躍る私がいる
憤り怒る私がいる
傷つき悲しむ私がいる
快く楽しむ私がいる

私が見ているのか
私が見られているのか
うたかたの夢のなかで
私という現象が点滅している

*岡山県和気町自然保護センターにて

photopos-202
2015.3.26



夢と現のあいだに

とめどなく浮かびでてくる

得体のしれぬものたち

わたしのところが

知らず生み出し続けてきた

数かぎりない想念の百鬼夜行

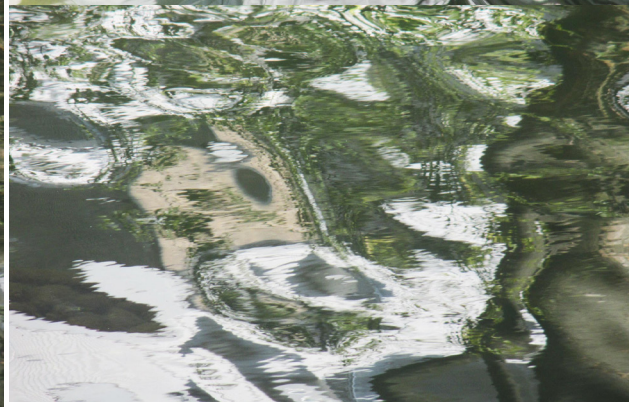
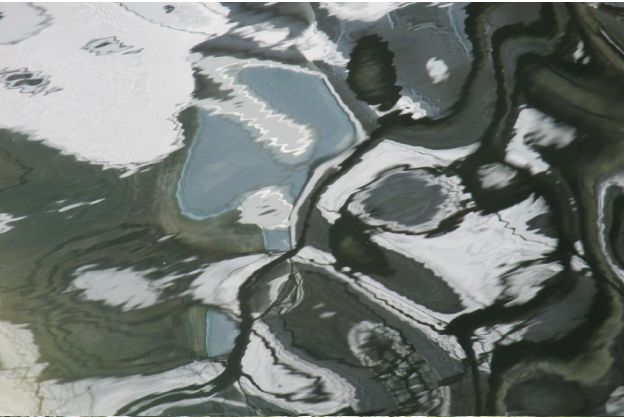
ああいつまで漂いつづけるのか

おおいつまでも彷徨いつづけるのだ

ところが鎮まり魔物を癒すときまで

*岡山県和気町自然保護センターにて

photopos-203
2015.3.27



アーメン！
天使が人となる

アーメン！
天空が大地となる

アーメン！
生命が水となる

アーメン！
大地が樹となる

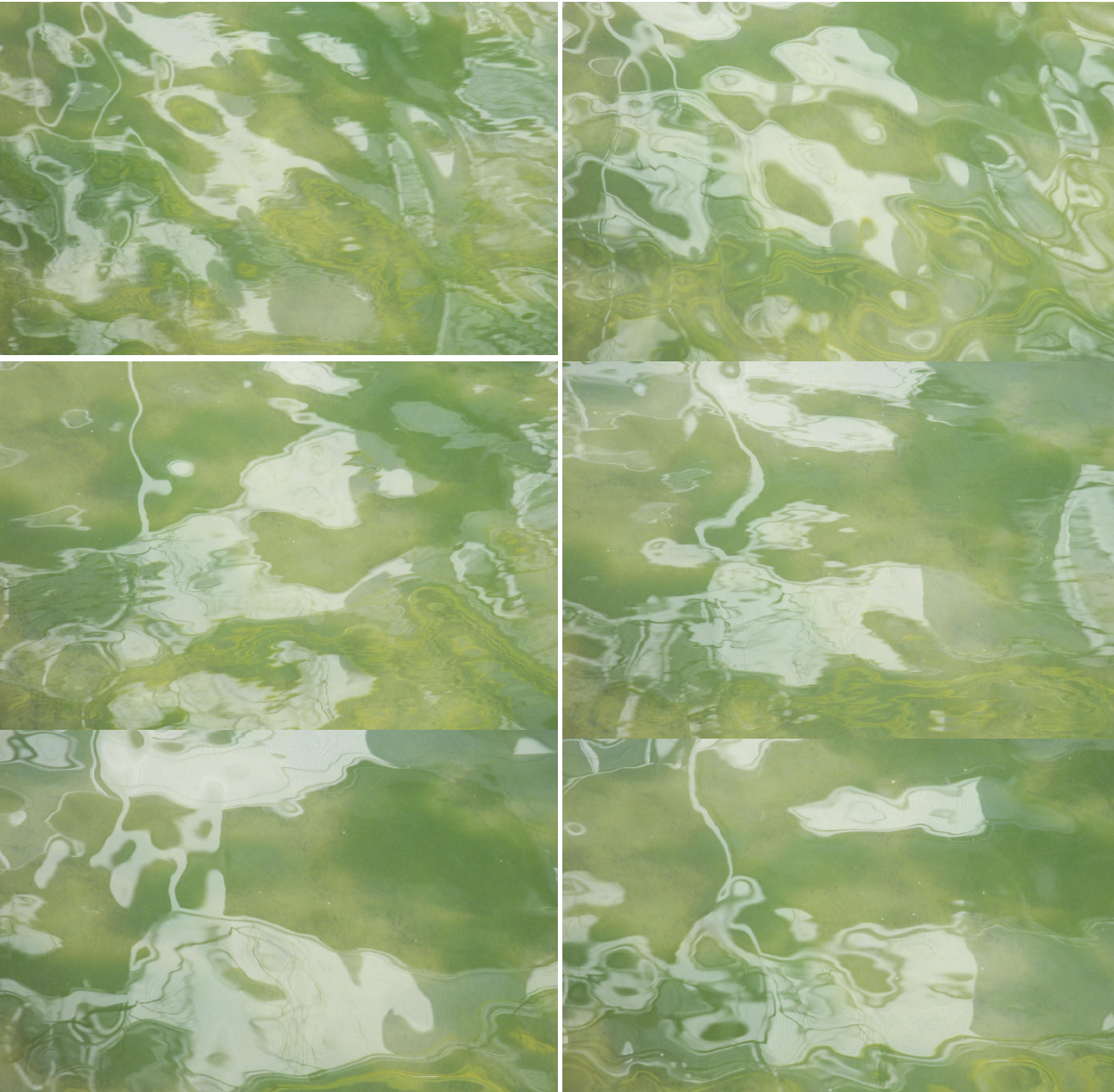
アーメン！
空が鳥となる

アーメン！
火が血となる

アーメン！
霊が物となる

*岡山市西川緑道公園にて

photopos-204
2015.3.28

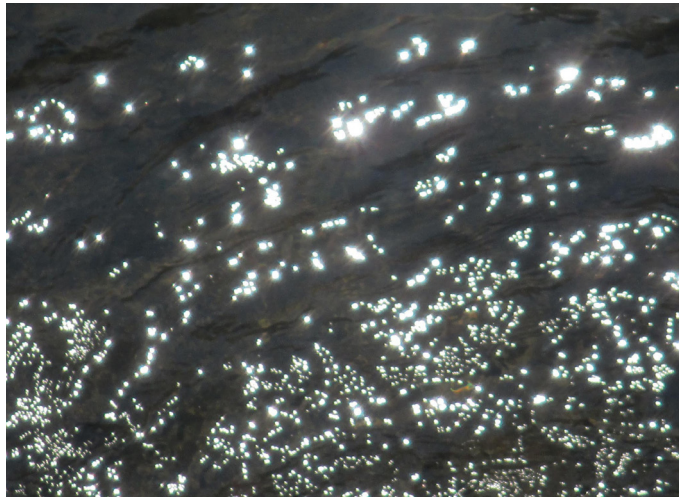


たえず生まれ萌えつづけ
姿を変幻させながら
みずからを幻出させている
緑の生きものたち

その色は生命の死せる像！
生命そのものは見えぬまま
ゆらゆるゆらゆると
幻灯を遊んでいる

*岡山市西川緑道公園にて

photopos-205
2015.3.29

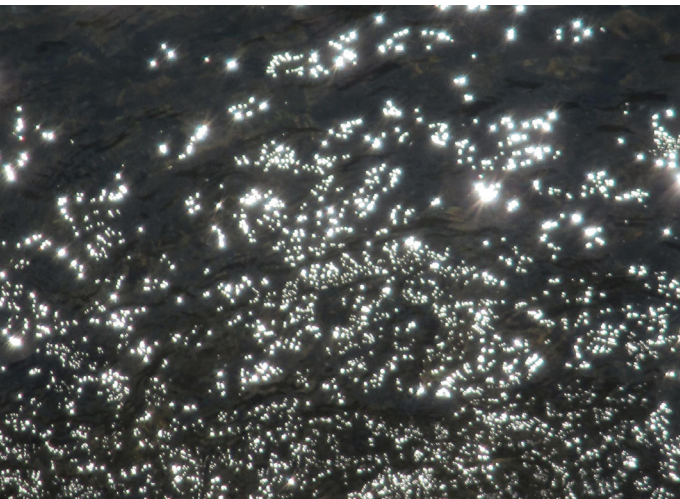


花のように
星のように

輝きとともに生まれ
喜びとともに戯れ

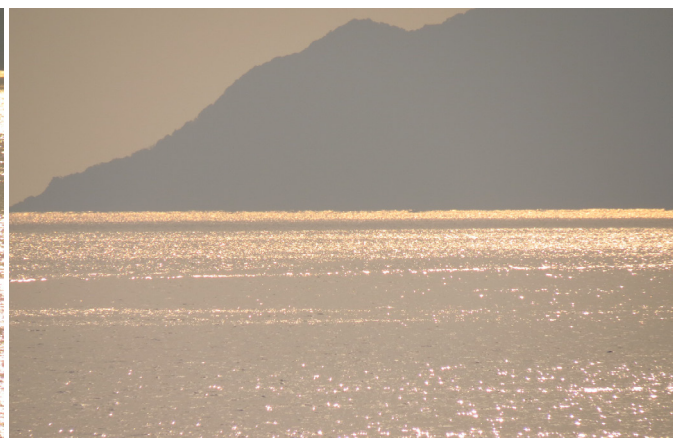
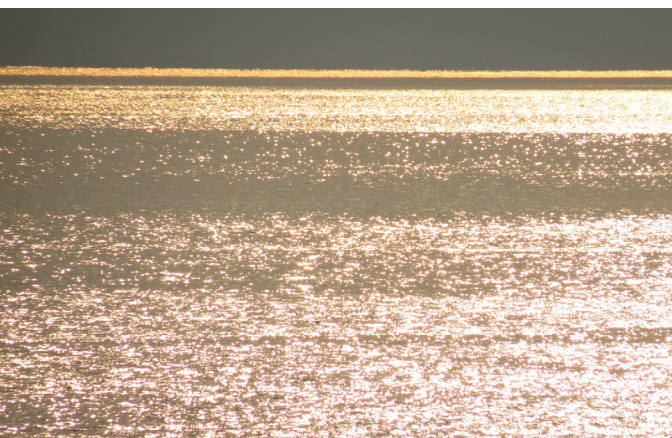
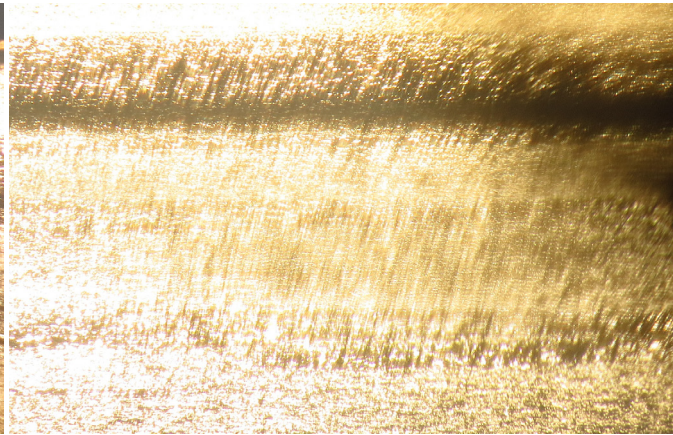
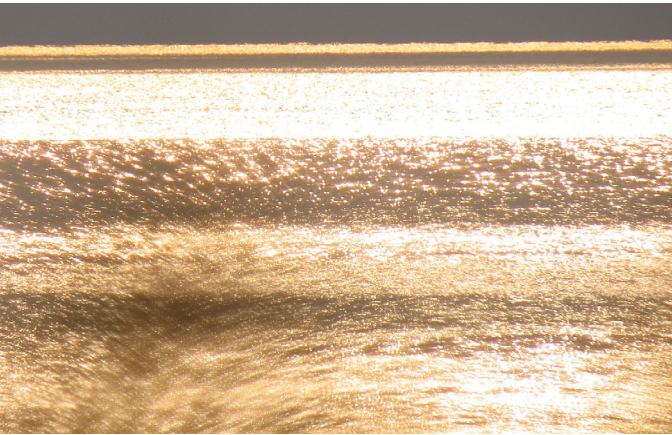
光の子どもたちは
春の訪れを喜び

夢みる季節のなかへと
次々に躍りだしていきます



*岡山市西川緑道公園にて

photopos-206
2015.3.30



* 高知県高知市・桂浜にて

光あるうちに
光を歩め

光を歩もうとするならば
地を踏みしめて歩くことだ

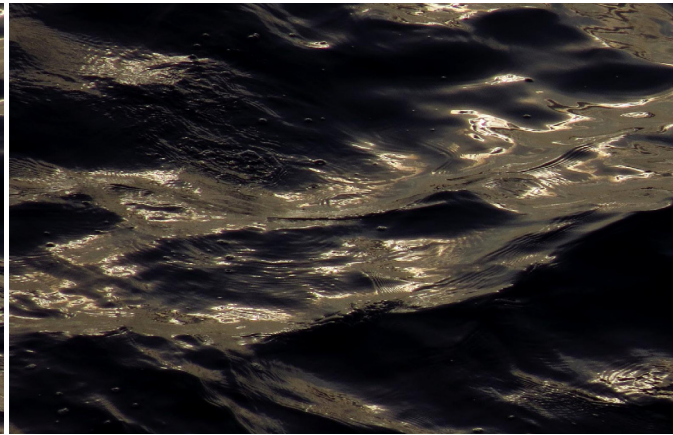
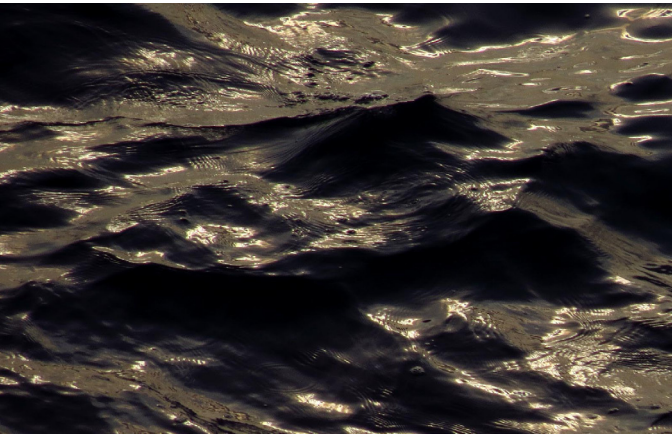
光は見るができない
見るためには
光を遮るものとともに
地を歩まねばならない

光とともにあろうとすれば
みずからが光となることだ
光となって
闇のなかで輝くことだ

光あるうちに
闇をも歩め

光とともに
永遠を歩むのだ

photopos-207
2015.3.31



闇が光に変わるとき
物質はその内から変容する

憎しみが愛に変わるとき
人はその内から変容する

剣が花に変わるとき
戦いはその内から変容する



* 高知県高知市・桂浜にて

photopos-208
2015.4.1



波は寄せ来たり
また引き返し

無数の泡を生みながら
光を宿しやがて消えゆき

悠久の鼓動を
繰り返しながら

つかのまの夢
はかない旅を

いつまでもいつまでも
続けてゆくのでした

* 高知県高知市・桂浜にて

photopos-209
2015.4.2



風は渡る

砂の広野

砂は語る

波の言葉

姿を変え

戯れ遊び

何を夢み

何を祈り

砂は語る

秘密の形

* 高知県高知市・桂浜にて

photopos-210
2015.4.3



石たちの夢を緩やかに
覆ってゆく水の
絶え間ないささやき

おぼえているかい
あの季節の風の匂い
指先をすするすと
すべっていった
見えない生きものの気配

石たちの夢は
どこへ帰ってゆくのだろう
水の精たちの歌を
風はどこへ運んでゆくのだろう

* 高知県高知市・桂浜にて

photopos-211
2015.4.4



何を見ているのだ
海の彼方だ

何があるのだ
知らぬが魂が求めるのだ

何を求めているのだ
魂の還っていくところだ

かつてそこにいたのか
ああそんな気がする

記憶はあるか
胸のずっと深いところに

* 高知県高知市・桂浜にて

photopos-212
2015.4.5



絶えることなき
大地と水の呼吸のように

寄せては返す
祈りの波よ

絶えることなく
交響しあう光と闇のように



寄せては返す
生と死の戯れよ

永遠の在処を問う者に答えよ
無常のめぐりにこそ永遠ありと

* 高知県高知市・桂浜にて

photopos-213
2015.4.6



何も決めないでいよう
目覚めないまま眠っていよう

目を開けてしまえば
深い深い闇の底から
なにかが姿を見せるのではないか

心の襞はゆるゆると
不安のまえで浮き沈み
いまだ形にならない心の種は
まどろみのなかをゆれているのです



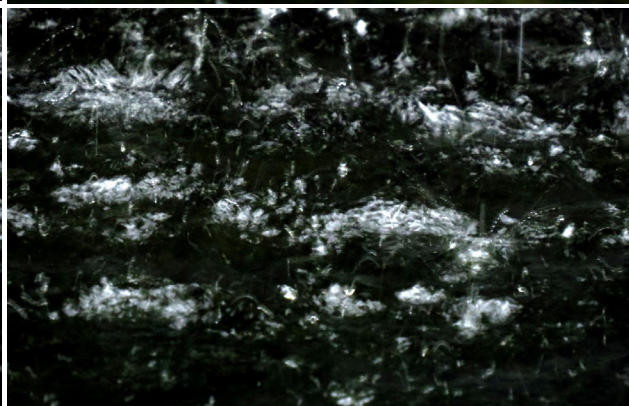
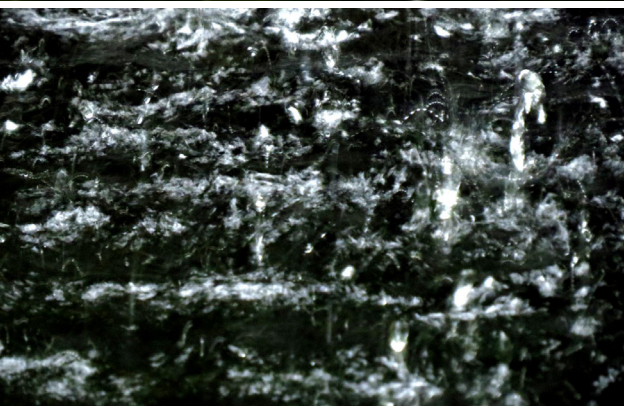
* 高知県高知市・桂浜にて

photopos-214
2015.4.7

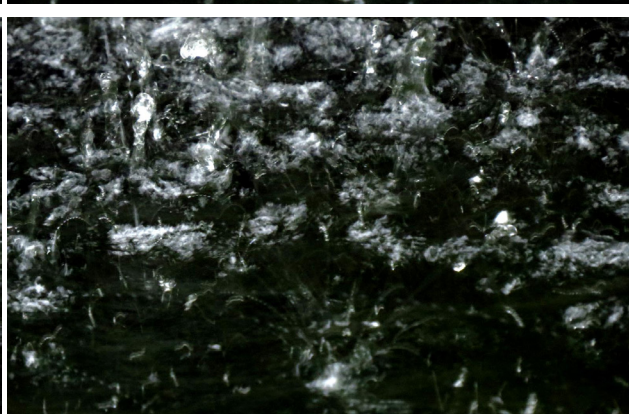


水から水へ
滴が跳ねる
水の言葉が戯れる

私から私へ
魂が跳ねる
私の言葉が戯れる



存在から存在へ
物が跳ねる
存在の言葉が戯れる



*高知市・牧野植物園にて

photopos-215
2015.4.8



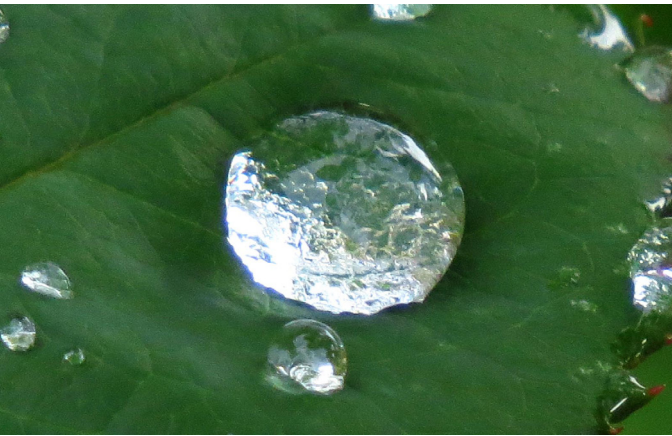
雨の滴はころころと
緑の衣につつまれて
まあるい鏡になりました

二重映しの鏡のなかで
世界と私は溶けあって
光の言葉を歌います



*高知市・牧野植物園にて

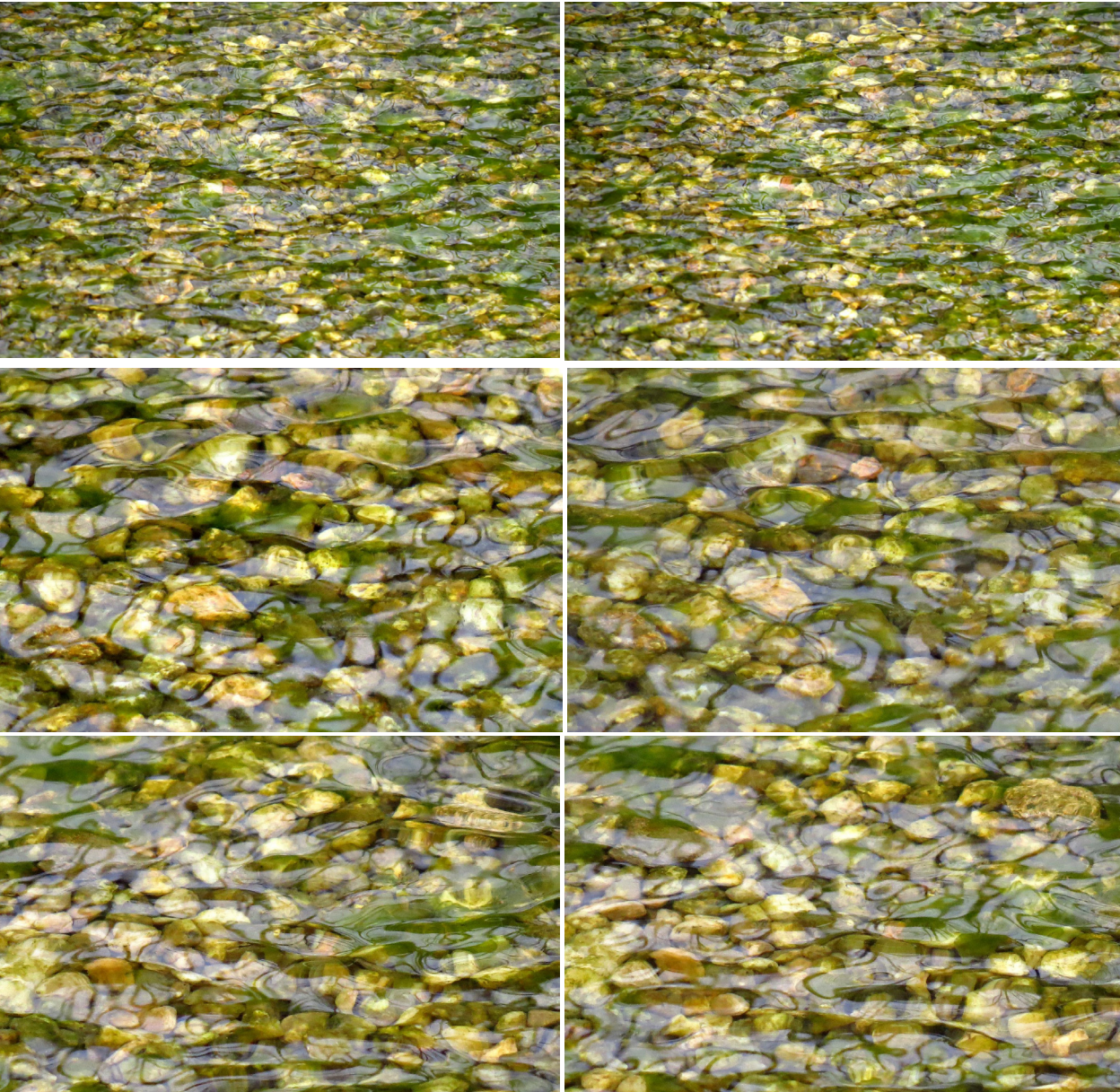
photopos-216
2015.4.9



天の国から
転がり落ちてきた
光る水の宝石たちは
手にしようとする
とすぐに壊れてしまう
夢のなかの記憶のよう
な
はかない刹那の結晶です

*高知市・牧野植物園にて

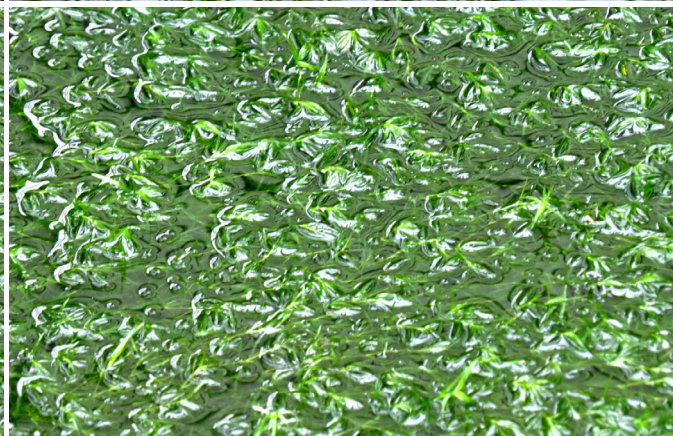
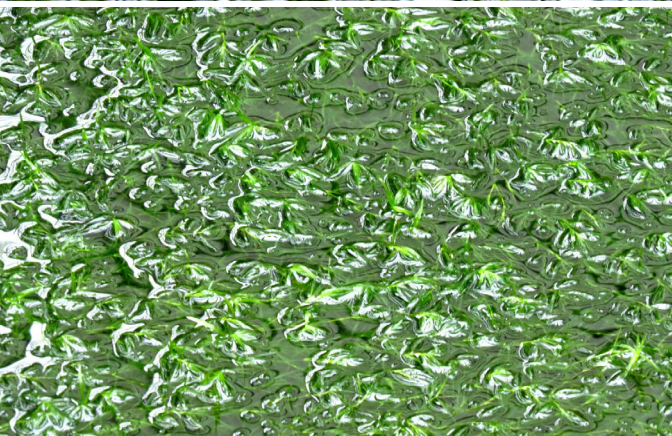
photopos-217
2015.4.10



私は水のからだになり
光のからだになり
風のからだになって
口笛を吹き
ただただ笑いながら
くるくるとらるらると
流れているのです

* 高知市・牧野植物園にて

photopos-218
2015.4.11



春の陽の
光を求め

浮きつ
沈みつ

水草の
漂へるごとく

我もまた
光を求めゆくかな

* 高知市・牧野植物園にて

photopos-219
2015.4.12



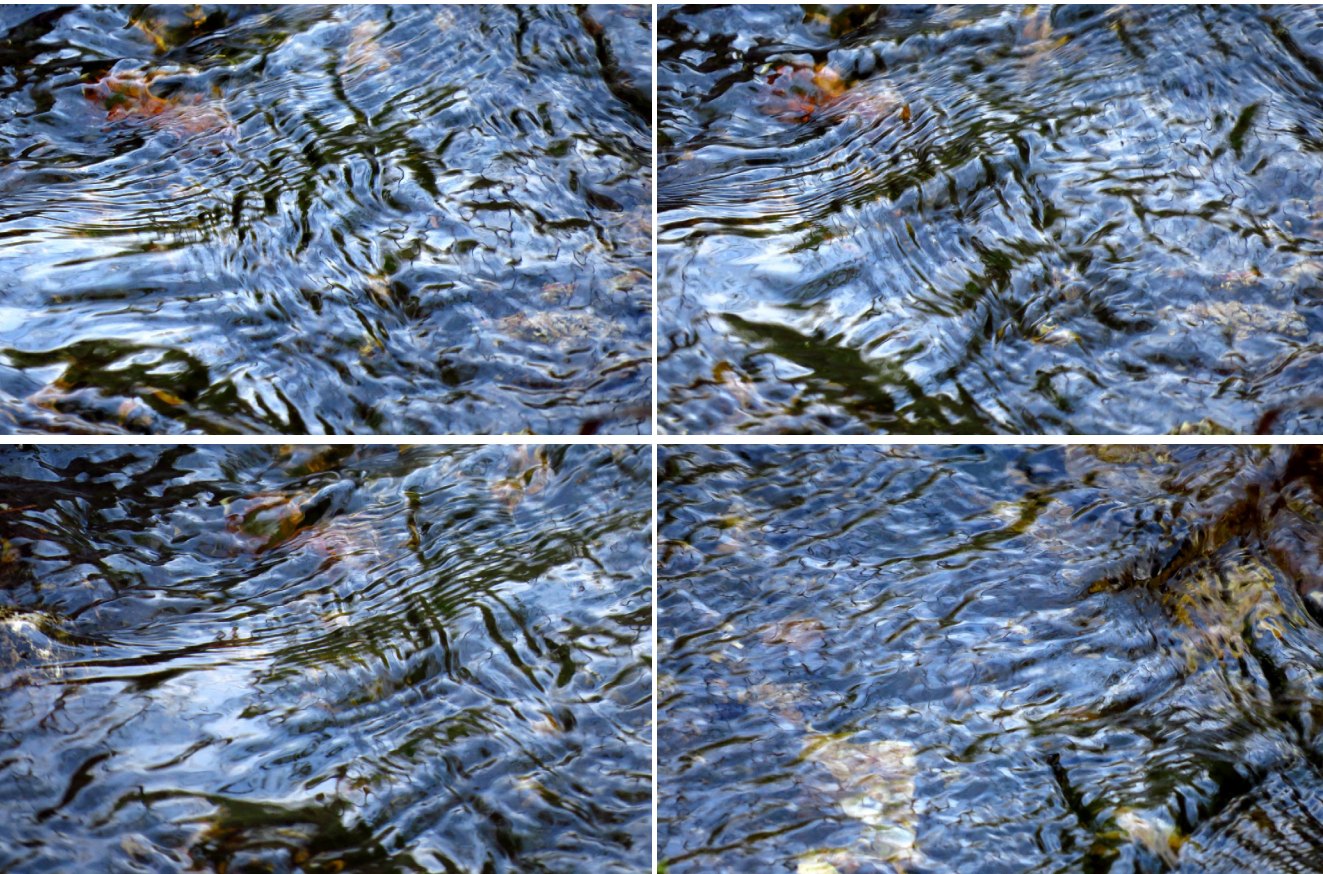
徒然に
心の模様が
泳ぎ出す

行くあてもなく
なにを描くでもなく
私であるという形もなく

光と闇はせめぎあい
互いをキャンバスにして
互いの心を描きあう

*高知市・牧野植物園にて

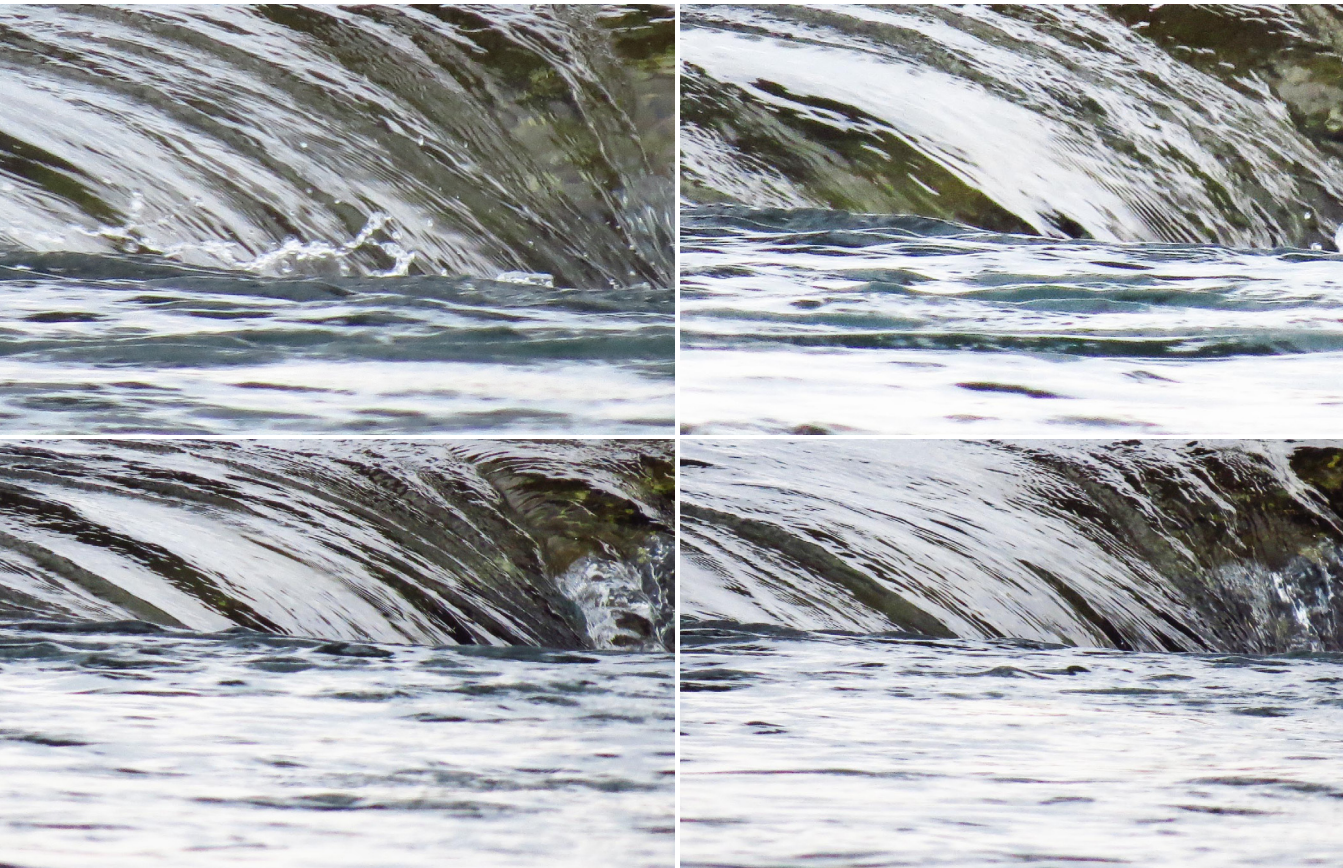
photopos-220
2015.4.13



心は石に塞がれ
風に波立ちながら
つねに揺れねじれ
さまざまな形となり
不思議の色を映し流れゆく

変わるものは何かと問い
変わらないものは何かと問う
変わるということは何かと問い
変わらないことは何かと問う
そして無常と永遠を問うみずからを
見つける

photopos-221
2015.4.14



水が低きへ流れるように
心も安きに流れゆき

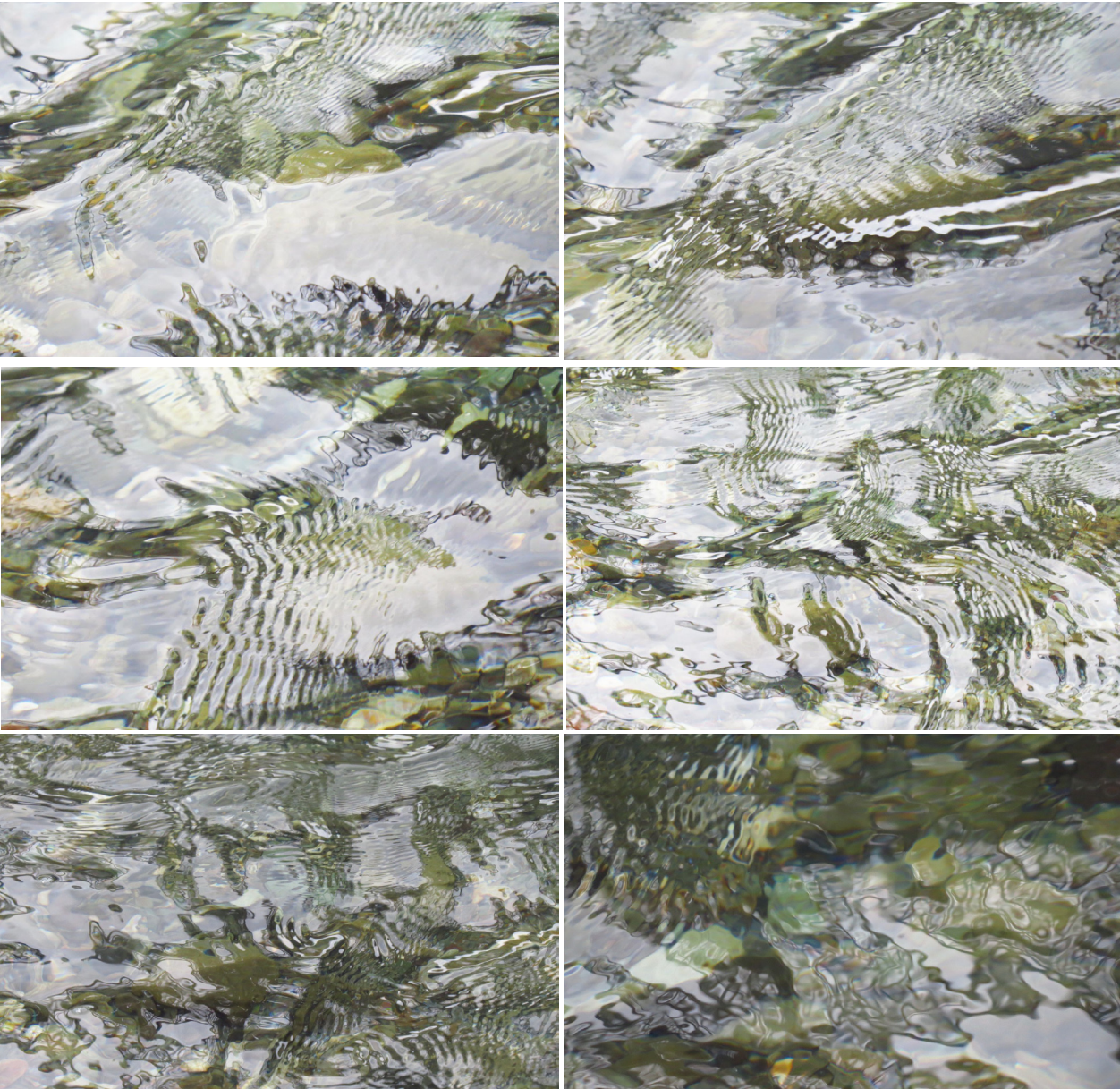
水がせめぎあい流れるように
心も苦しみのなかを流れゆく

わが心よ
なぜ高く昇らぬのだ
なぜ静けさを愛さぬのだ

激しい濁流のなかで
自問することさえできず
ただ流されゆくわが心よ

* 高知県伊野町・仁淀川にて

photopos-222
2015.4.15



玲瓏レンズのその向こう
水底の国が見えるかい

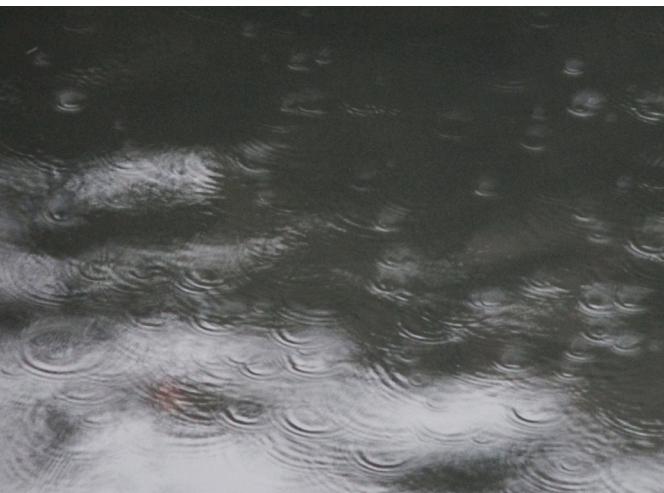
遠くて見えなくなるときも
歪んで妖しになるときも

雲でかすんだ空の青
光で見えない星のよう

光や風や流れを去れば
変わらぬ姿が現れる

* 高知県伊野町・仁淀川にて

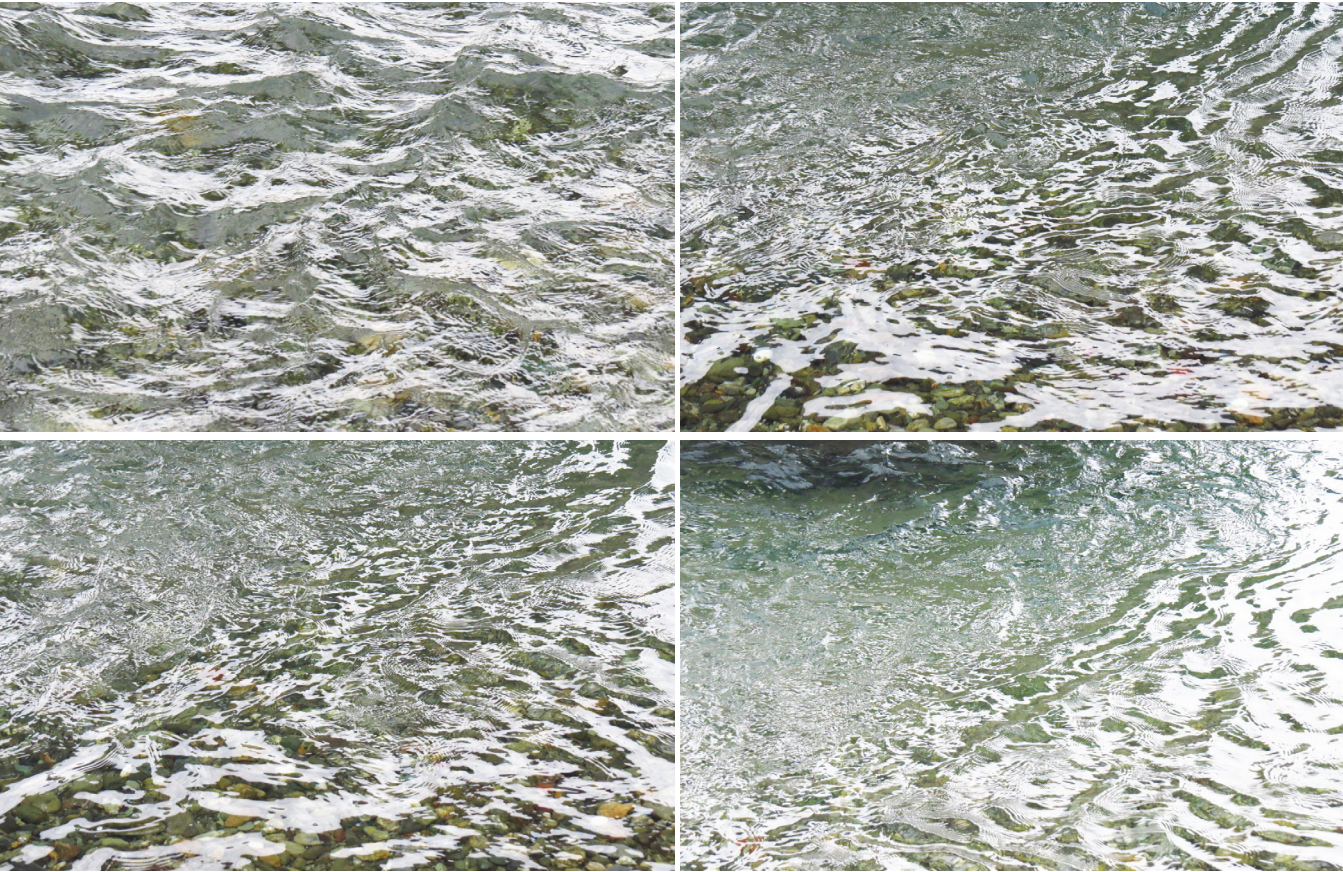
photopos-223
2015.4.16



ぼろんぼろんぼろん
空から涙が落ちてきて
まちに波紋をひろげます
波紋と波紋はかさなって
鱗をもった魚になって
空の鏡で泳ぎます

* 高知市街にて、雨の日を歩く

photopos-224
2015.4.17



見えない世界に
山が生まれ
川が流れ
谷が刻まれ

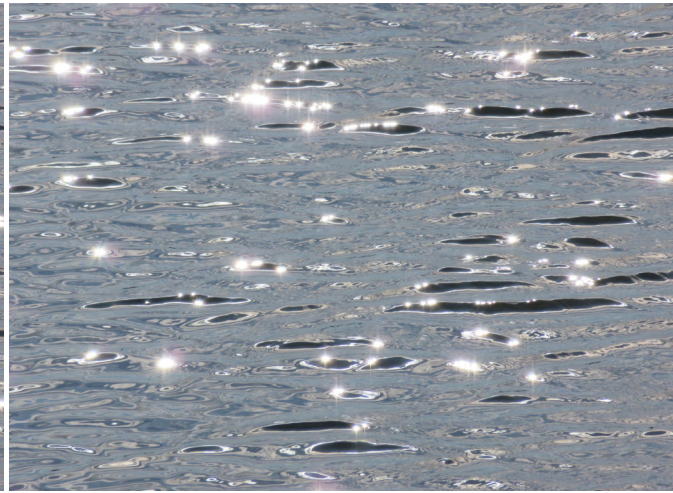
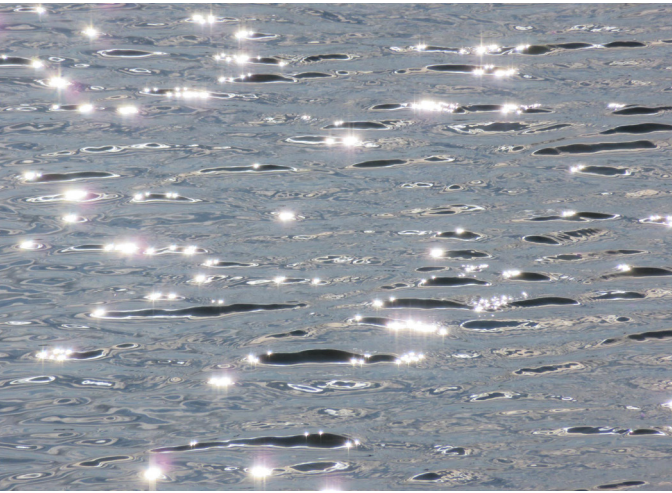
見えない世界で
意志が働き
感情が波打ち
思考が形になり

見えない世界を
旅する者は
やがて見えない彼方から
伝え来ることだろう

見える世界で見ているもの
見える世界のほんとうを
見えない世界への道
見えない世界のほんとうを

*高知県伊野町・仁淀川にて

photopos-225
2015.4.18



闇に撒かれた
光の子どもら
生まれ育ちて
水の面に照り
天へと向かい
地を照らしつ
闇にひろがり
光の花咲かす

* 高知市街を流れる久万川にて